

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100518
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム さくらが丘
所在地	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘四丁目1番7号 (電話) 099-265-3700
自己評価作成日	平成22年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年11月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・地域の方々を、地域の中で支えられるようにと、職員も桜ヶ丘在住が多く定着率も高くオープン当初からの職員が多い。
- ・女性の入居者が多く裁縫や手作りの作品を職員と一緒に楽しみ、桜ヶ丘文化祭に出展し楽しみの一つになっている。
- ・普段の生活の中で排泄パターンの把握を行ない、できるだけパットやリハビリパンツを使わないケアに取り組んでいる。隣の敷地には協力医療機関があり、定期受診や緊急時の対応が可能である。
- ・職員の健康が笑顔をうみ、それが入居者の元気と明るさにつながっており、ホーム全体の明るい雰囲気となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・玄関には草花が植えられ、菜園もある。利用者と職員が一緒に作成した、手作りの作品がホールや共用の和室に飾られている。一人ひとりの写真集も作成されていて、家族の来所時などに閲覧でき日常の暮らしぶりがわかり、喜ばれている。
- ・開設当初からの職員が多く、異動もほとんどない。職員のチームワークがよく、働きやすい職場である。
- ・職員の健康管理も徹底されており、健康で明朗な態度で、常に理念を念頭に置きながらのケアに取り組んでいる。
- ・散歩好きの利用者にそっと付き添い見守りながら、声かけを行なって自然な形でホームに帰ってくる等、一人ひとりの人格や行動を大切にし、利用者がゆっくと日々の生活を楽しめるように支援を行なっている。

グループホーム さくらが丘 (1F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者ひとりひとりの気持ちを大切に思い地域の中で生活をするために「地域との交流を深める」という文言をいれ、職員全員で理念を作り上げた。	管理者・職員で、地域に根ざした理念を作りあげ、朝礼時に唱和して、日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事（町内清掃 桜ヶ丘文化祭）に積極的に参加し交流を深めている。	町内会に加入し、回覧板を届けたり、地域の清掃活動や文化祭に作品を出品したりしている。また、散歩時の挨拶や保育園児が遊びに来たり、通学途上の子供たちも挨拶を交わしたりして、地域の人達と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎月のたよりを町内会にも配布しており、機会あるごとに地域の方々にも支援をお願いしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議時は、グループホームの動きなどを報告し、参加の方々から意見や要望を出していただき実践の中で生かせるようにしている。	運営推進会議では、ホームの状況や評価の報告等をしている。また、参加者からは消防訓練やターミナルケアについて等の意見が出たりして、サービスの向上に活かす取り組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者との連携はとりこいぐ、毎月のたよりを窓口に届けたり、市の介護相談も積極的に受けており、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の窓口に出かけ、担当者にホームの状況報告や相談をしたがり、ホームだよりを届けている。また、地域包括支援センターの職員とも連携を取り合いながら、情報交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月に一回、身体拘束マニュアルの勉強会を実施しており職員一人一人が拘束をしないケアの理解を深め、実践に取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置している。虐待防止について理解を深めるため、毎月勉強会を行なっている。日中は玄関の鍵はかけずに細心の注意をはらい、管理者・職員は拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束と虐待を一ヶ月おきに勉強会を実施しており、高齢者虐待防止関連法についても勉強会の中で取り上げ、虐待の防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>スキルアップ研修として成年後見人制度の研修を行っており、必要な方には説明し、勧められるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に重要事項説明を行ない、不安な部分はないかを伺い、説明し、理解、納得していただいている。また、退去の際もご家族が納得されるよう十分説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の来訪時には、困ったことなどがなければ声かけを行ない、玄関に意見箱を設け、ご家族からの意見などを広く聞けるようにしている。	「あなたのご意見をくださいませんか箱」を設置して、家族の意見を取り入れている。また家族の面会時には、管理者・職員が、声かけを行い、懇談するようにしている。冷蔵庫のチェックのお願いや面会場所の件等の要望や意見を聞き、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、定例ミーティング時には、色々な意見や要望を出してもらい、職員一人一人に声かけをし運営がスムーズにいくように勤めている。	管理者は、利用者のケアや運営について、ミーティング時やケースカンファレンス等を行ないながら、職員の意見・要望を聞いて運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自分自身が健康でなければよりよい介護にはつながらない事を理解し、年に2回の健康診断を行っている。又、勤務実績に基づき資格取得に向けた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階に応じて資格取得の為にアドバイスを行ない、内部 外部の研修の参加を勧めている。定例ミーティング時に研修報告をしてもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区グループホームの勉強会で意見交換などを行なったり、地域のグループホームが合同で勉強会を行ない質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人と面談をし、心身の状態や思いを聞き、安心した入居につなげている。又、ご本人にもホームを訪問していただき安心につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族との相談を行ない、今までの生活状況、不安な点や要望を充分聴き、ご家族の思いを理解し受け止めるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の心身の状態や思い、ご家族の思いを充分理解し、他のサービスが必要であれば検討し他事業所のアドバイス等も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者は共に生活をしている家族として捉え、喜怒哀楽を共にし、お互いに支えあっている。(四季折々のいわれなどは、教わる事が多い。)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期受診後は受診結果を報告したり、きずきの点などは相談をしたりしてご本人を支える体制を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎週墓参りに行かれたり、大切な家族やお友達との関係が途切れたり遠のいたりしないよう支援に努めている。	遠方の家族には、毎週電話をかけたり、友人が訪ねて来たり、家族と墓参りに出かけたりして馴染みの関係が途切れないように支援を行なっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がお互いに支えあえるような関係作りができるよう職員が気配りをし、働きかけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療への入院で退去になられた方が多く、見舞ったりしてご家族の相談にアドバイスや支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でご本人の希望や思いを聴き、できるだけ一人一人の希望に添えるよう努力している。尚、表情などから思いや希望を捉えるようにしている	利用者に何をしたいかどこに行きたいか等の希望や要望を聞いている。また、日々のケアの中での会話でも聞いている。困難な利用者には、表情等から把握したり、家族から情報を聞いたりして本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活暦などの把握に努め、今までの生活を大事に思い、ご本人が安心した生活につなげられるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の申し送り後、各フロアにおいて、一人一人の状態確認をし把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族から意見や要望を聞き、又、職員間でケースカンファレンスを行ない、出された意見などをプランに反映させている。	モニタリングは定期的に行なっている。また、ケースカンファレンスを毎月行なっており、本人・家族・職員等の意見等を反映しながら介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の生活の状況や、身体状況を個別に記録を行い、職員間で情報共有をし、毎日の実践に生かせるように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の状態や、ご家族の要望に応じて、他科受診を行い柔軟な対応支援につなげている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の民生委員の訪問がよくあり、又、訪問理美容があり、生活の楽しみになっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医であったり、希望される医療機関の受診支援を行っている。受診時は、ご家族と連携を取っており、職員対応時は、受診後ご家族へ報告をおこなっている。</p>	<p>本人・家族の納得のいくかかりつけ医の受診を支援している。また、かかりつけ医と連携を取り、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の状態変化時などには、看護職員に連絡を取り、適切な医療受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご本人の情報提供を行い、できるだけ早い退院に結びつくようご家族と連絡を取り合っている。できるだけ毎日職員が見舞うようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の場合、ご家族の要望を聞きながら、又、主治医とも、相談を行っている。なお、終末期ケアについては、検討を重ねているところである。</p>	<p>利用時に重度化・終末期についての事業所としての方針を説明した上で、その後、家族や本人、主治医とも話し合い、説明を行っている。終末期ケアについては、協力医療機関と検討しながら取り組み、支援を行なっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に急変時、事故発生時の対応の訓練を行い対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回 全職員が参加し消防避難訓練を行い、同時に災害時の注意点なども指導をうけている。</p>	<p>避難訓練は年2回昼・夜間想定で行なっている。また、近くの病院・薬局、近隣住民に協力の声かけを行なっている。今年度は、家族も参加して訓練を行なうように計画をしている。非常時の備蓄も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に添った声掛けに努め、プライバシーを損ねないケアを心がけている。	その人に応じた言葉使いや鹿児島弁などの方言を使いながら、誇りやプライバシーを損ねない対応・ケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人がわかる説明を行い、自分の意思表示ができるよう言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活のペースを大切にし、買い物や散歩など要望を聞き、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしいおしゃれの支援に努め、2か月に1回訪問美容があり希望に合わせたカットを楽しまれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の盛り付けなど、できる範囲で一緒に準備をしたり、片づけも、出来る範囲でスタッフと一緒にやっている。	献立の希望を聞いたり、職員と一緒に買い物に出かけたり、菜園の野菜を収穫したりしている。また、野菜の下ごしらえや食事の盛り付けも一緒に行ったりして食事が楽しみになるように支援を行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一週間の中で肉、野菜、魚をバランスよく取り入れた食事に努めている。又、個々が所有しているコップの内容量を把握し、一日の水分摂取量の目安にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い必要に応じて補佐を行い口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握して、できるだけトイレ利用のさりげない声掛けに努めている。	利用開始前はオムツの利用者が、リハビリパンツや布パンツに移行している。排泄パターンを把握しながら声かけを行ない、できるだけトイレでの排泄の誘導を行いながら、排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時にはヨーグルトを摂っていただいている。又、十分な水分補給に努め、毎日、室内体操や、起立練習を取り入れ便秘対策を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を楽しみにされており、ゆっくりと入っていただけるように気配りを行っている。希望に応じて毎日の入浴も行っており、必要に応じて部分浴を行っている。	入浴の曜日は決めているが、毎日入浴の希望者にも対応している。また入浴前にコーヒーを飲んで入浴したり、部分浴を行ったり、個々に応じて、入浴を楽しむことができるように支援を行なっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の身体状況や希望に応じて午睡を勧めたり、夜間時の安眠につなげる為、それぞれに応じた日中の活動を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の文献をファイルし、薬の内容や副作用の把握を行っている。又、薬の変更などがあった場合は、医療受診ノートに記載し情報共有を行ない、服薬後の変化など確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活力に合わせた日課への参加により、満足度を得られるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望により、買い物を兼ねた散歩をしたり、年に2回の外食を行っている。（自分の好きなメニューを注文される。）	公園への散歩や買い物など、本人の希望に応じて外出している。また、外食やコスモス園・バラ園等に出かけている。行事の折には、家族会も一緒に出かけている。	
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の力に応じて金銭の自己管理をされており、買い物時は自分で支払いができるよう援助している。		
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望時は居室でゆっくり電話で会話を楽しめたり、家族の関係が途切れないようスタッフが電話をかけ会話を楽しんでいただく様配慮している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく過ごしていただけるよう装飾などに心配りをし、季節の花々を飾り、安らぎの空間づくりに努めている。	玄関には季節の草花が植えてあり、明るく広いリビングの壁には、季節の飾りがなされ、利用者の手作りの作品も展示してあり、居心地よく過ごせる工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士が会話を楽しみながら、思い思いに過ごせるよう居場所づくりを工夫している。</p>		

V アウトカム項目 グループホーム さくらが丘 (1F)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない